

OT 北河内ブロック現職者共通研修 『事例検討会』の案内

OT 北河内ブロック代表 柳川 明義（暇生会脳神経外科病院）

日本作業療法士協会の生涯教育制度基礎コース必須研修の一環である事例検討会を大阪府作業療法士会では各ブロック単位で開催しています。

本事例検討会は数多くの演題が寄せられました。他施設での取り組みや作業療法介入を知ることができる大変貴重な機会です。4月からの新入職員さんの参加も含めて、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今回の募集は「参加」「検討」となります。

(担当：濱田、瀬筒、下西)

○日 時：平成 31 年 4 月 12 日（金） 19：00～21：00

○場 所：四條暇学園短期大学 清風学舎 5F（四條暇駅から徒歩 1 分）

〒574-0001 大阪府大東市学園町 6 番 45 号

駐車場はありませんので、お近くのパーキングをご利用ください。

*** 四條暇学園大学リハビリテーション学舎とお間違えのないようにお越しください。**



○内 容：事例検討・事例報告（現職者共通研修）

○参加費：「事例検討」「事例報告」の認定を受ける方は、**500 円の認定料**が必要です。

他府県士会の会員は **1000 円**となります。

上記以外の参加は**無料**となります。

本研修の「参加」の方は生涯教育 **2 ポイント**の対象です。

*当日は教育部による他研修会参加ポイントの処理も可能です。

応募方法

kkb_ot@yahoo.co.jp 暇生会脳神経外科病院 柳川宛

①氏名 ②所属 ③経験年数 ④協会番号 ⑤参加・検討

上記を明記の上ご応募ください

事例検討会プログラム

各発表における時間配分は発表 7 分、質疑応答 8 分、休憩 5 分となっております。
休憩の間に会場の移動していただいて結構です。

A 会場（504 講義室）

第 1 セッション（19:00～20:00） 座長：関西医科大学附属病院 橋本 晋吾

- ① インスリン自己注射動作を通して麻痺側上肢の使用頻度の向上を図った一症例
星ヶ丘医療センター 川端 史穂
- ② 生活機能における麻痺側上肢の参加頻度の向上と心情の変化を認めた一例
中村病院 田村 拳士朗
- ③ 様々な活動を通して退院後の生活のイメージができ、自宅退院に至った一例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 衣笠 純一

第 2 セッション（20:00～21:00） 座長：啜生会脳神経外科病院 柳川 明義

- ① 小脳性運動失調を呈したが誤差学習を意識した課題設定により利き手での食事動作を獲得した症例
関西医科大学附属病院 林 佳世子
- ② 延髄外側梗塞の嚥下障害に対して ST 支援の形で体幹機能と嚥下筋に介入し 3 食経口摂取に繋がった一症例
星ヶ丘医療センター 兼松 大輔
- ③ 右頭頂葉梗塞により深部感覚の低下を呈した症例～左手での茶碗の操作獲得を目指して～
関西医科大学附属病院 齋藤 安貴

B 会場（503 講義室）

第 1 セッション（19:00～20:00） 座長：介護老人保健施設ハーモニー 名倉 和幸

- ① 外出訓練を行うことで解離していたお互いの想いの一致につなげた症例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 稲田 成美
- ② 食事中の箸操作に着目し介入した右片麻痺症例
星ヶ丘医療センター 石本 彩佳
- ③ 上衣の更衣動作自立を目指した事例
啜生会脳神経外科病院 宮崎 萌子

第 2 セッション（20:00～20:40） 座長：四條啜学園大学 田丸 佳希

- ① 骨折後患者の笑顔を取り戻せ
藤本病院 山崎 佳七
- ② 対応の統一と反復練習により ADL に改善を認めた失行症の一例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 鮫島 陽介